



県内外127事業所 自社技術をPR

多治見市

多治見市をはじめ県内外の企業が製品や技術をアピールする「第15回多治見ビジネスフェア『ぎ』業展」が2日、同市東町のセラミックパークMINOで始まった。写真。3

日まで。

若手経営者らでつくる実行委員会と同市が主催し、多治見商工会議所、東濃信用金庫共催。今回のテーマは「第一期一会」。新規参加の51事業所を含め県内外の127事業所が、計144ブースを出展している。陶磁器関連や製造業、飲食、建築などさまざまな企業や団体が独自の製品や技術をPRし、来場者が熱心に耳を傾けている。第15回を記念し、来場者が気に入ったブースにタイルのコインを投票するコンテスト、東濃地域の若手クラフト作家による陶芸や小物の展示会、女性向け

のハンドメイド&ワークショップも開催。3日には有料の呈茶サイビスやタイル工作教室も行われる。昨年は3446人が来場し、契約成立が23件、業務提携が2件だった。今回は2日間で約4千人の来場を目指している。

(有我友香理)